



ほろ苦さを つくる

ここは、遠野市松崎町にある特産農業センター（事業・管理主体 遠野市農業協同組合）。ホップの一貫処理作業（花摘↓乾燥↓放冷↓くん蒸↓プレス↓計量↓梱包）をする施設だ。設置されたのは昨年度。真新しい機械がフル回転している。この種の施設としては日本一の規模。県では、ビール消費の伸びとともに、

ホップの需要が高いことから、昭和五十年までに栽培面積を五百二十四畝（四十八年 約三百五十六畝）とすることを計画している。

ことしは、日照り続きで作柄が心配されたが、まずまずの出来ばえ。生産額も山形県に次いで全国第二位になるものと見込まれ、収穫の手もはずむ。

